



2020年7月31日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 旅 工 房
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 会 長 兼 社 長 高 山 泰 仁
 (コード番号：6548 東証マザーズ)
 問 い 合 わ せ 先 執 行 役 員 岩 田 静 絵
 コーポレート本部長
 TEL. 03-5956-3044

2020年3月期通期連結業績の前期連結実績との差異に関するお知らせ

当社は、本日付「2020年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました2020年3月期通期連結業績につきまして、前期(2019年3月期)連結実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。なお、当社は2020年4月15日付「通期業績予想の修正に関するお知らせ」にて当該期間に係る売上高の予想値を33,000百万円としており、今回実績33,355百万円との差異は1.08%となりました。

記

1. 2020年3月期通期連結業績の前期実績との差異について

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績値(A) (2019年3月期)	百万円 29,268	百万円 333	百万円 318	百万円 190	円銭 40.64
当期実績値(B) (2020年3月期)	百万円 33,355	百万円 138	百万円 138	百万円 88	円銭 18.70
増減額(B-A)	百万円 4,087	百万円 △195	百万円 △180	百万円 △102	
増減率(%)	13.96	△58.56	△56.60	△53.68	

(注) 前期実績につきましては、2020年5月12日付「当社法人営業部門の従業員による不正の発覚と2020年3月期決算発表の延期に関するお知らせ」にて公表しました不正を踏まえた過年度決算訂正を行った結果を反映した実績となります。

2. 差異が生じた理由

世界的な新型コロナウイルス(COVID-19)の感染拡大を受け、2020年1月より中国やヨーロッパへの旅行の催行を中止せざるを得ない状況が続いておりましたが、2020年3月25日付けで外務省から全世界を対象とした危険情報「レベル2(不要不急の渡航は止めてください)」が発出されたことで、日本からの海外旅行がほぼ不可能な状況となりました。

当社といたしましても、2月より上海、香港、マカオを目的地とするツアーの催行を中止しており、3月上旬より前述の地域に加え、韓国、インド、イタリアを目的地とするツアーの催行を中止しております。また3月16日より、グアム、シンガポール、オーストラリア、ドイツやフランス等のシェンゲン協定諸国等を目的地に含むツアーを、3月24日よりハワイを含むアメリカ全土、カンボジア、ロシア等を目的地に含むツアーの催行を中止しております。このような状況により、個人顧客、法人顧客問わず旅行キャンセルが生じた結果、3月単月の売上は前年同月比で29.79%と業績に影響が生じている状況となりました。

利益につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大を受け旅行需要が落ち込むことを見据え、全社をあげたコスト削減に取り組んだものの、各段階利益が大きく前年実績を下回ることとなりました。

以 上